

AIDSネットワーク横浜 ニュースレター

発行：特定非営利活動法人 AIDSネットワーク横浜

〒231-0015 横浜市中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9 F

TEL：045-201-8808 fax：045-201-8809

ホームページ <http://www.netpro.ne.jp/any/>

e-mail：any@netpro.ne.jp



第29期ボランティア学校のお知らせ ～今年度は相談員のスキルアップ講座として開催～

第29期AIDSボランティア学校は、電話相談員スキルアップ講座として下記プログラム内容にて開催します。電話相談員のスキルアップを目的としたANY会員限定の講座とします。会員の方は、ぜひご出席ください。



【プログラム】会場：横浜AIDS市民活動センター

	開催予定日	時間	テーマ及び講師(所属)
1	8月20日(土)	13時～15時	いろいろな性 安達倭雅子(“人間と性”教育研究協議会)
2	9月3日(土)	13時～15時	感染者患者の看護と介護 宮林優子(横浜市民病院看護部看護師)
3	9月17日(土)	13時～15時	HIVの検査 佐野 貴子(神奈川県衛生研究所)
4	10月15日(土)	13時～15時	HIV治療 小島 賢一(荻窪病院血液科 臨床心理士)
5	10月22日(土)	13時～15時	HIVと妊産婦への切れ目のない支援 水主川 純(東京女子医科大学 産婦人科)

お知らせ・・・感謝申し上げます

2021 年度、当団体へご寄付をいただいた方

いただいたご寄付は、ANYのさまざまな活動に活用させていただいています。
 ここにお名前を掲載し、感謝申し上げます。

サンセット 21 ライオンズクラブ様	株式会社 笹田組様
(株)大和 代表取締役佐藤正道様	北原美智子様
(有)まるこ家具店様	清治ヒロ様
横浜商工会議所様	望月明様

出前講座を振り返って
 生徒たちと共に学びたい！ 中野久恵



昨年度に委託を受けて実施した出前講座は、コロナの感染状況により4校中2校は、放送室からのテレビ放送となった。体育館で実施の際は、窓を開けて感染対策が取られた。中止にならずに実施できて本当に良かったと思う。3年目を迎えた“withコロナ”への対応により学びが確保されたことを喜んだ。そのような中、後日送られてきた感想文から生徒たちが「初めて知ったこと」「性への向き合い方を変えたこと」など様々な受け止めがあったことがわかり嬉しい。生徒と共に学んでいきたい。

【生徒たちの感想文】

- ・ 付き合うことは対等な関係で、安心・自由・成長・自信が大切なことを知った。
- ・ こういうことは丁寧に扱う必要があると思った。何も気にしないと取り返しのつかないことになるため。一度考えてから行動する必要がある。
- ・ 付き合うのは相手を支配することではない。
- ・ 今まで性ということを面白がっていたが、講演を聞いて、自分が馬鹿みたいに思えてきた。自分はずっと男だと思って生きてきたけど、この世には体のせいと心の性が一致しない人がいるということを初めて知った。

水を交換するとき、たった3回の交換で1人の水が8人全員と混ざったことに驚いて、性感染症も同じように簡単に感染が広がるのかなと思い少し怖くなりました。また、妊娠〇週とかは妊娠したときから何週かだと思っていたので、月経が始まった日を0日としてそこから数えるということは初めて知りました。まだ周期は不安定だけどいつ始まったかとかそういうことをメモするようにしようかなと思いました。

自分の友達の中に性器の大きさを気にしている子がいたけど、今回の授業をきいて、それは個性だと言われて安心したのではないかなと思います。僕も、すごくためになりました。

- ・ 話を聞いて人との関わり方を大切にしないといけないと思いました。自分が思っていたことと聞いた後では印象がはっきりと変わりました。
- ・ 高校に行ったら、つきあわなくてはいけないのかと思っていたが、そうではなくてセックスを急がなくてよいことがわかり安心した。

